

第1 盛岡市の概要

(1) 盛岡市のプロフィール

盛岡のまちづくりは、今からおよそ400年前の慶長年間、南部家26代信直公が北上川と中津川が合流し丘陵に囲まれた不来方の地に築城したことから始まりました。

城下町は町割りを五の字にして、城を二重の外堀が巡り、商家や職人町が囲み、その外側に侍屋敷などを配置したもので、当時としては新しい考え方に基づく城下町の軍事や商業、交通などに配慮した環状市街地の道路形状が行われました。

これが現在の中心市街地の骨格となっており、城下町の情緒と風格が「盛岡らしさ」として残っています。

1871年、廃藩置県によって盛岡県、1872年には岩手県、そして1889年の市町村制施行により全国39都市のひとつとして、人口2万9,190人、面積4.47平方キロメートルの盛岡市が誕生、岩手県の県庁所在地として現在に至っています。

近年の盛岡市は、1989年に市制施行100周年を迎えるとともに、1992年4月には新しい中核都市の形成を標榜し南に隣接する都南村と、2006年1月には北に隣接する玉山村と合併を果たし、人口約30万人、面積886.47平方キロメートルの新生盛岡市が誕生しました。

また、新しい都市づくりとして現在の市街地から南西方向に向けて盛岡駅西口地区や盛岡南地区の都市開発事業が進められており、奇しくも1200年前の平安時代に政庁が置かれていた志波城の方向に向かっており、その後の安倍氏一族の拠点であった厨川柵、藩制時代の南部氏築城の盛岡城と、時計回りでまちづくりが行われてきていると言えます。

東北新幹線の新青森延伸や秋田新幹線の開通などにより、今後ますます拠点性が高まっており、県全体の発展を誘導し、北東北の交流拠点都市としてさらなる発展を目指しています。

(2) 盛岡市の歴史

都市としての盛岡の歩みは、1597年、26代南部家当主信直の盛岡城築城に始まります。城下町としての街並みが整い、各地との往来も盛んになって、領内の金、馬、海産物を得て政治・経済の中心地として栄えました。

新しい時代を迎えた明治維新（1868年）によって南部藩は盛岡県、そして岩手県へと変遷しました。

1874年（明治7年）には藩政の象徴であった城郭も取り壊されましたが、城跡は岩手公園となり、今に残る石垣は古い街並みとともに盛岡の長い歴史と文化を私たちに伝えていきます。

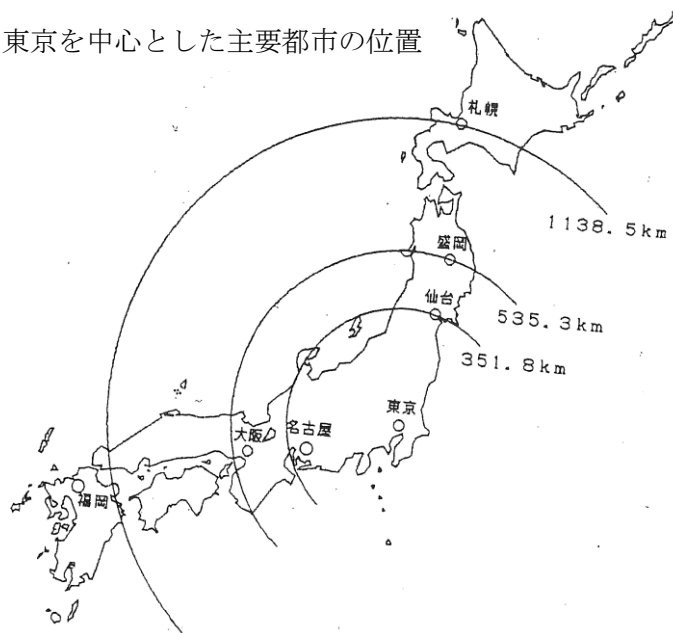
1889年（明治22年）岩手県の県庁所在地として誕生以来、近代都市として一世紀の歴史を刻んだ盛岡市は、1992年には人口約4万人の隣村「都南村」と、また2006年（平成18年）には石川啄木のふるさと玉山村と合併を実現、長い伝統と美しい自然の調和した北東北の拠点都市にふさわしい新たなる発展を遂げています。

(3) 位置

東北本線の盛岡－東京間の距離は 535.3キロで東京－大阪間とほぼ同じ距離である。

また、東京－札幌間のほぼ中間地点に当たる。

○東京を中心とした主要都市の位置



(4) 広域市町村圏

盛岡市の広域市町村圏は、岩手県の西北部に位置し、その広がりには県総面積の23.8%にあたる広大な面積を有し、本県最大の圏域となっており、2市5町1村で構成されている。

また、盛岡広域都市圏は、盛岡市、矢巾町、滝沢村の1市1町1村で構成されている。

盛岡広域都市圏では、一体の都市計画区域として都市計画を定めている。

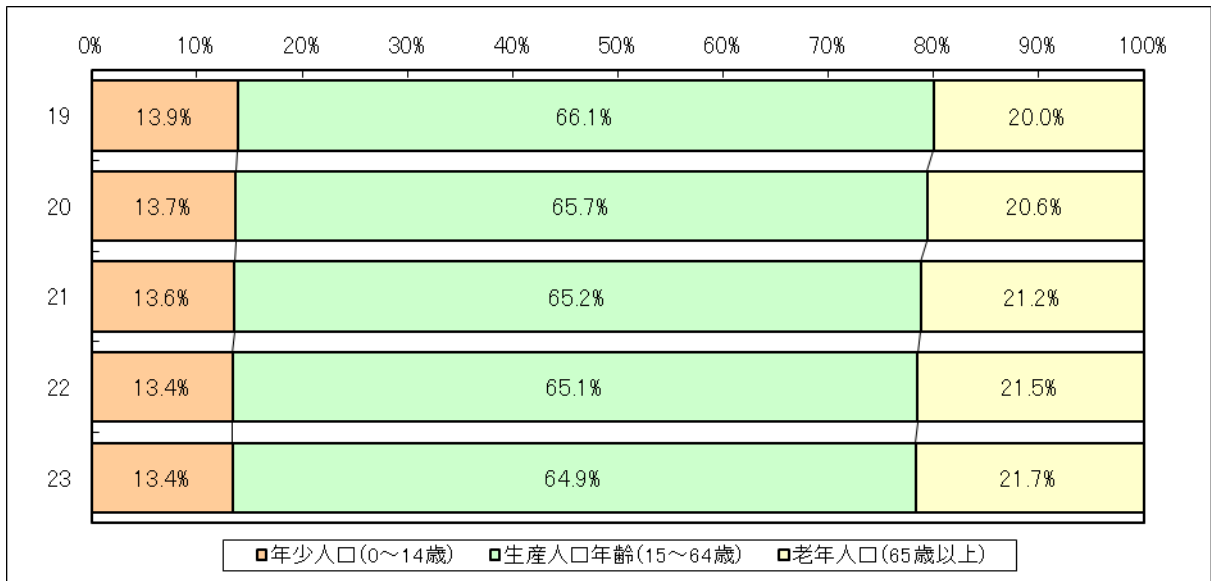


(5) 盛岡市の人口（住民基本台帳登録人口）

○ 住民基本台帳登録人口（毎年9月末現在）

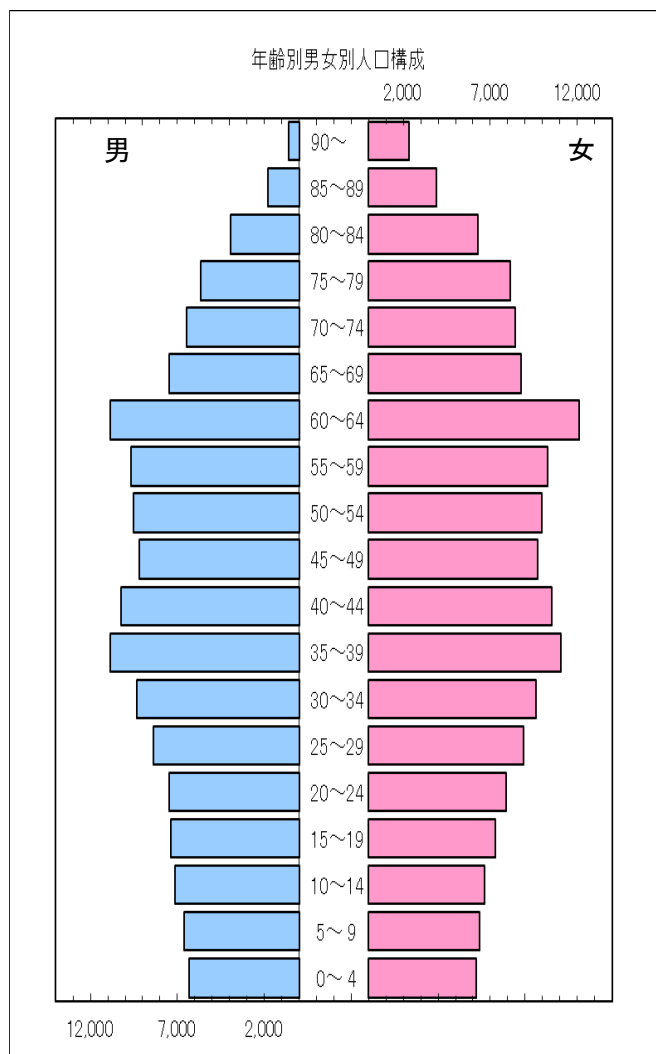
年	総計	男	女	世帯数
平成19年	293,971	139,739	154,232	122,944
平成20年	292,958	139,025	153,933	123,754
平成21年	292,487	138,628	153,859	124,486
平成22年	292,285	138,454	153,831	125,650
平成23年	293,452	138,852	154,600	127,263

○年齢別人口構成割合の年次推移（毎年9月末現在）



○年齢別男女別人口構成（平成23年9月末）

区分 年齢	男	女	総数
0～4	6,346	6,187	12,533
5～9	6,604	6,397	13,001
10～14	7,156	6,681	13,837
15～19	7,379	7,287	14,666
20～24	7,455	7,894	15,349
25～29	8,356	8,921	17,277
30～34	9,327	9,608	18,935
35～39	10,866	11,079	21,945
40～44	10,236	10,539	20,775
45～49	9,188	9,730	18,918
50～54	9,504	9,983	19,487
55～59	9,665	10,282	19,947
60～64	10,874	12,115	22,989
65～69	7,477	8,784	16,261
70～74	6,478	8,443	14,921
75～79	5,641	8,164	13,805
80～84	3,925	6,275	10,200
85～89	1,789	3,915	5,704
90～	586	2,316	2,902
総計	138,852	154,600	293,452



(6) 市章と市のシンボル

盛岡市の市章



盛岡市の市章は、菱（ひし）形二つを直角に交差させたものです。

この紋章は、藩政時代から伝わる陣笠やかごなどにも用いられています。

菱形は南部家が甲斐源氏の一族であったことを表し、一方、折りづるを図案化したようにも見えることから、南部家の紋章である”つる”を象徴しているという説もあります。

市章としての制定時期ははっきりしませんが、1906年に定められた「市吏員用提灯其ノ他ノ徽章ノ件」という規定に、職員用のちょうちんなどにこの紋章を使うようにと定められています。市旗は1968年11月に正式に定められました。

盛岡市の花「カキツバタ」



さわやかな初夏に紫色の花を咲かせる多年草。

市内各地に自生。

アヤメ科。

盛岡市の鳥「セキレイ」



市街地を流れる中津川などでよく見られるスマートな小鳥。

セキレイ科。

盛岡市の木「カツラ」



山地に自生する落葉樹。

枝が垂れるシダレカツラはこの地方特有の変種。

カツラ科。